



笠岡労働基準監督署長
小川 充彦

趣旨

当署管内における過去10年間の労働死亡災害発生件数を見ると、平成16年と17年に3件発生しているのが最多でした。

しかし、本年は4月以降6名（10月23日時点）もの尊い生命が労働災害で失われているという危機的状況にあります。

労働死亡災害発生状況、その防止対策を広く周知していただくことを目的に、本会議を緊急的に開催することとしました。



本年発生した労働死亡災害を見ると

会社・管理者が、「予想していない作業」や「現作業段階では考えていない作業」が行われており、その作業において最も多く発生すると考えられる災害に対する基本的な災害防止対策を講じていないために災害が発生する、という特徴が目立ったところです。

直近の作業場所を見ていない

作業の状況を確認していない

作業を作業者に任せきり

任された作業者は

素早く作業を終わってしまうこと

しか考えなかった

結局は、基本的な災害防止対策を講じていなかったために発生

【労働死亡災害の撲滅のために】

当署としては、100%の事項をお願いすべきものですが、今回は、怠ると労働死亡災害につながる可能性の高い基本的措置については、まず、確実に措置してほしいと考え、焦点を絞り、要請を行わせていただきました。

作業場所を直接確認して作業方法を具体的に指示することについて、今一度、確実にお願いしたいと考えております

また、作業場で活用いただくために簡単にチェックできるチェックシートを作成しました。各事業場、作業場所、作業を行う前にこのチェックシートでチェックしていただくことで、基本的対策を確実に講じていただきたいと考えております。



笠岡労働基準監督署

～みんなで作ろう

職場の安全・安心～